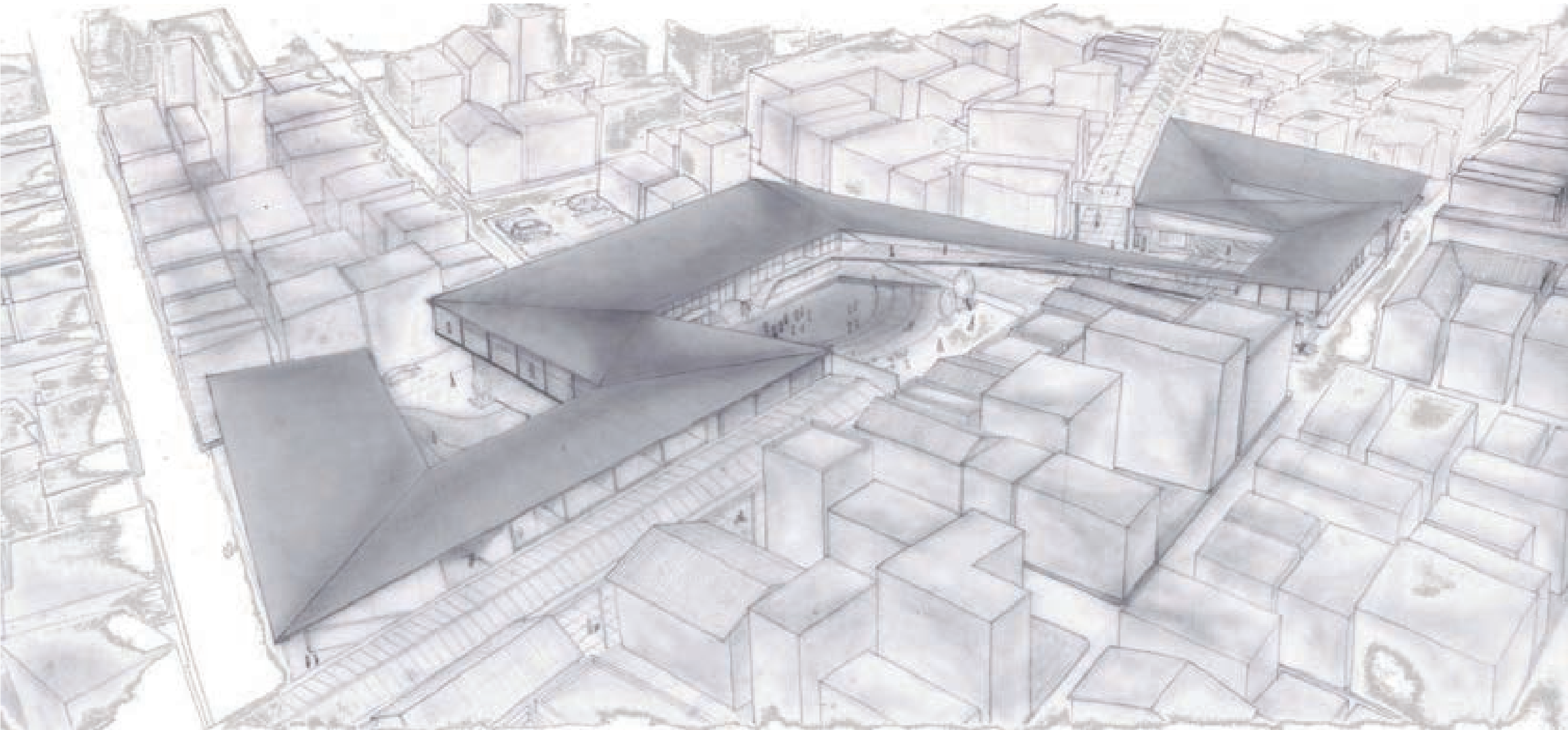


伸びる結節線

山谷における風景を最大化する建築のかたち

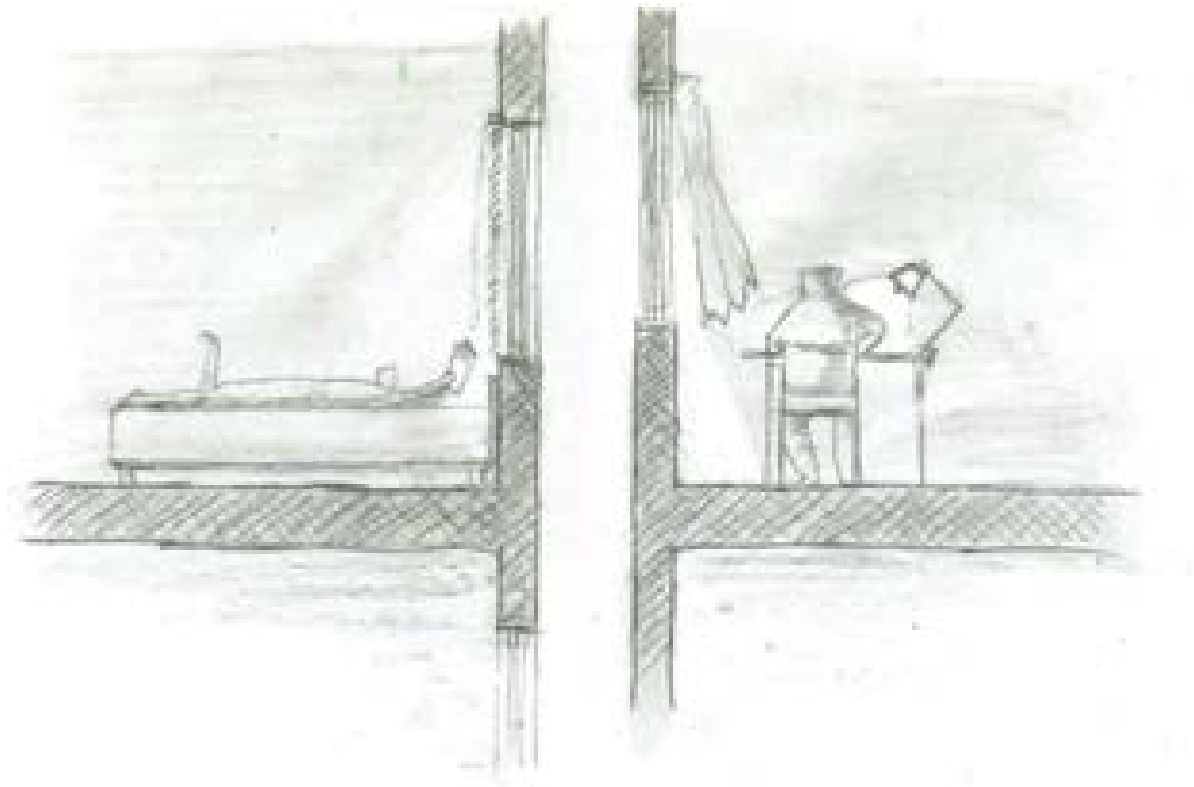
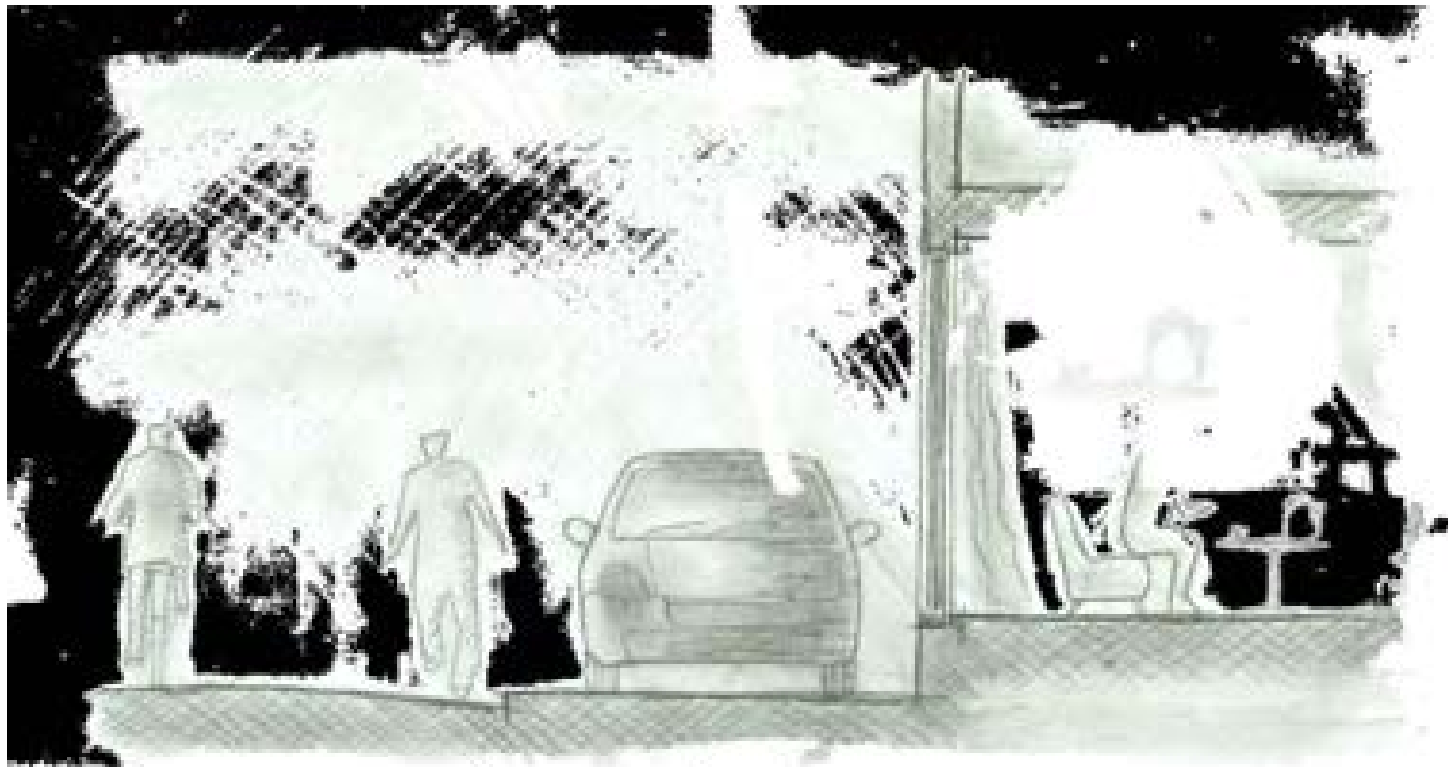


敷地周辺は昔ドヤ街と呼ばれ、日雇い労働者が集まる簡易宿泊所の密集地であった。高度経済成長期には約2万人の労働者が集まり、簡易宿泊所が300軒以上建ち並び活気に溢れていた。しかし、時代と共にそこで生活する人々の種類は変化し、生きる力に満ちていた街の魅力は薄れてきた。

新たに流入してきた外国人バックパッカーや観光客などを取り込むことで、この場所に既にあるものを変質させ、既存のまちと融合したものを生み出し、再び生きた街に変える計画である。

均質で閉鎖的な商店街に絡み合う連続した建築を挿入し、周辺環境を取り込んで、商店街にアクセントをつける。

issue



建物は都市に対して寛容さを失ってしまった。敷地は自動車に占拠され縁側と庭を持たず、建物は室内環境をコントロールするようになり窓を締め切り、外部に対して遮断した空間となり、建物の中で何が起こっているのか外部から伺い知れなくなった。



東京都台東区日本堤

戦後、日雇い労働者の街として発展を遂げたこの地域は、現在、転換の時期にある。南千住北側では高層ビルや、タワーマンション、駅を中心に数多くの施設が続々と計画されている。また、観光資源が多く存在する台東区にあるこの街では、外国人の流入が目立つ。ここに、宿と住宅、周辺の住民を取り込む複合施設を提案する。

台東区 日本堤

計画敷地はいろは会商店街に面する日本堤1丁目とする。街区内部には小規模な建築群がひしめき合い、これら住宅の多くは築60年を越え、建て替えの時期を迎えている。



images of site



site use



A		B		※total(vacant)	
service : 22		service : 10			
house : 19		house : 5			
total : 41 (22)		total : 15 (7)			
a	b	c	d	e	
service : 3	service : 1	service : 3	service : 4	service : 5	
house : 18	house : 18	house : 11	house : 2	house : 6	
total : 23	total : 22	total : 15	total : 10	total : 11	
f	g	h	i	j	
service : 4	service : 7	service : 8	service : 5	service : 12	
house : 8	house : 5	house : 7	house : 4	house : 5	
total : 12	total : 14	total : 18	total : 11	total : 18	

diagrams

diagram 1 ドヤ人と住民はある一定の距離を保ち共存してきた。その関係を崩さず、新たに流入してきた観光客を取り込むとともに公共の場を還元し、新たな関係をつくりだすようゾーニングする。

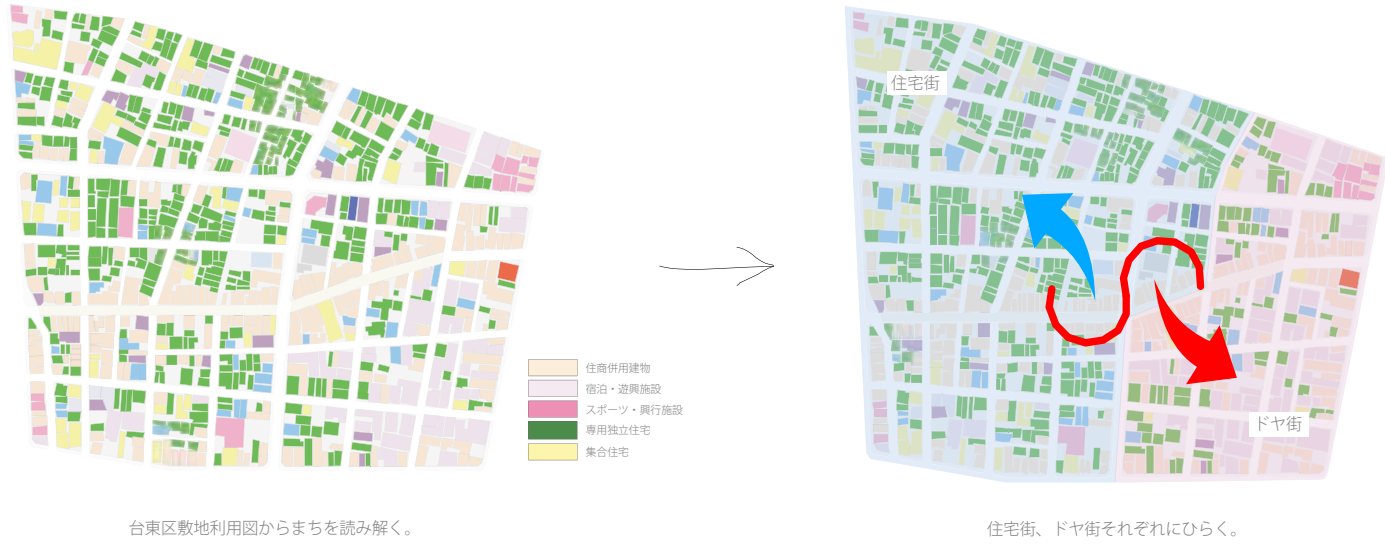
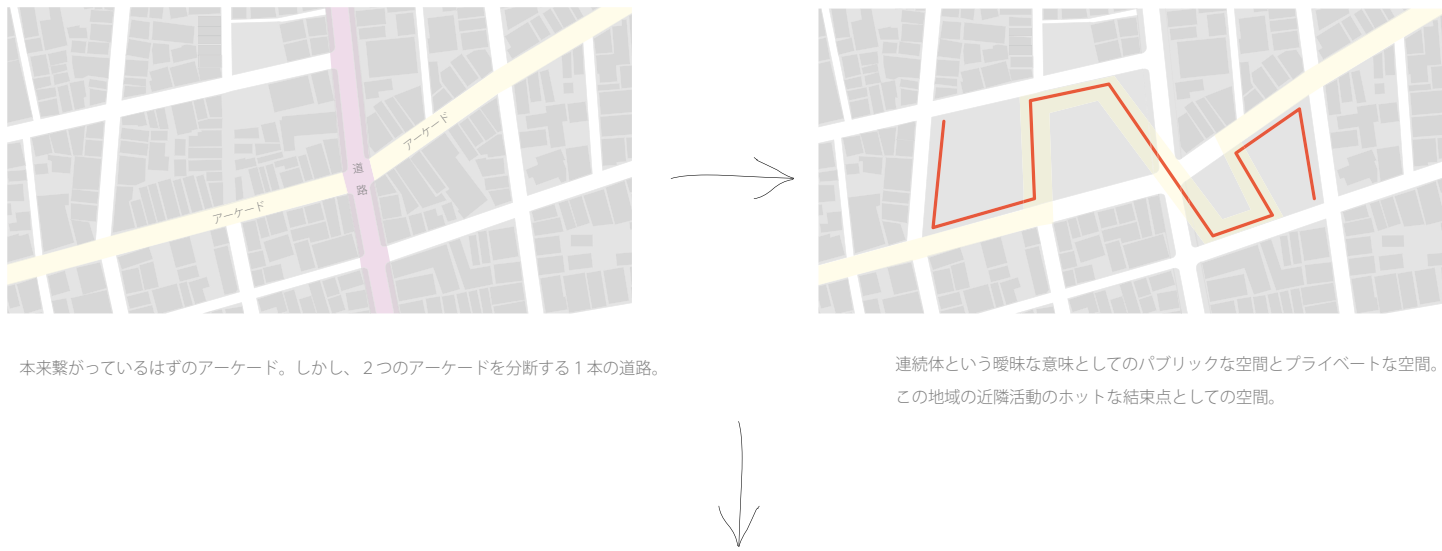
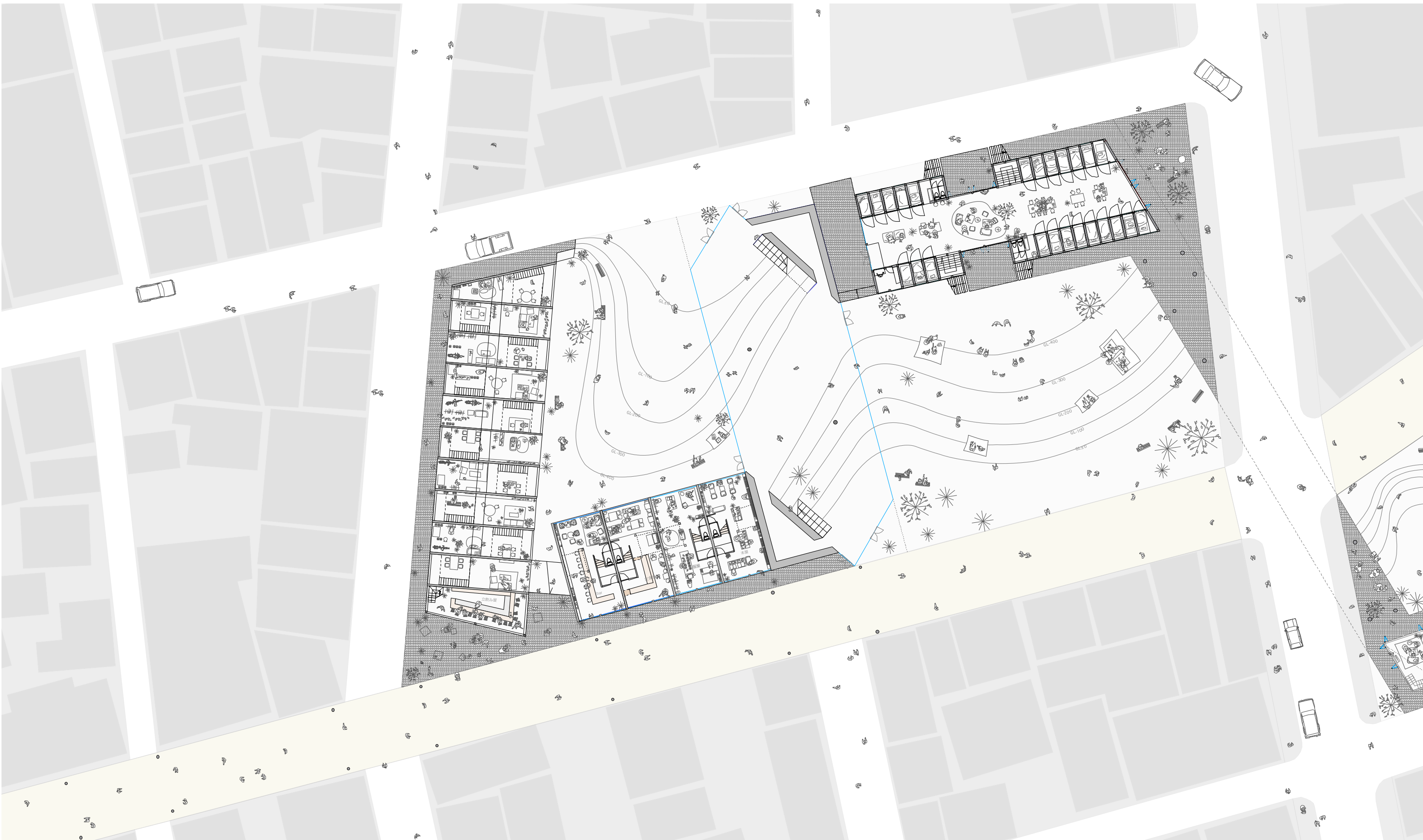


diagram 2





plan (GL+1600) 1:200





diagrams

diagram 1

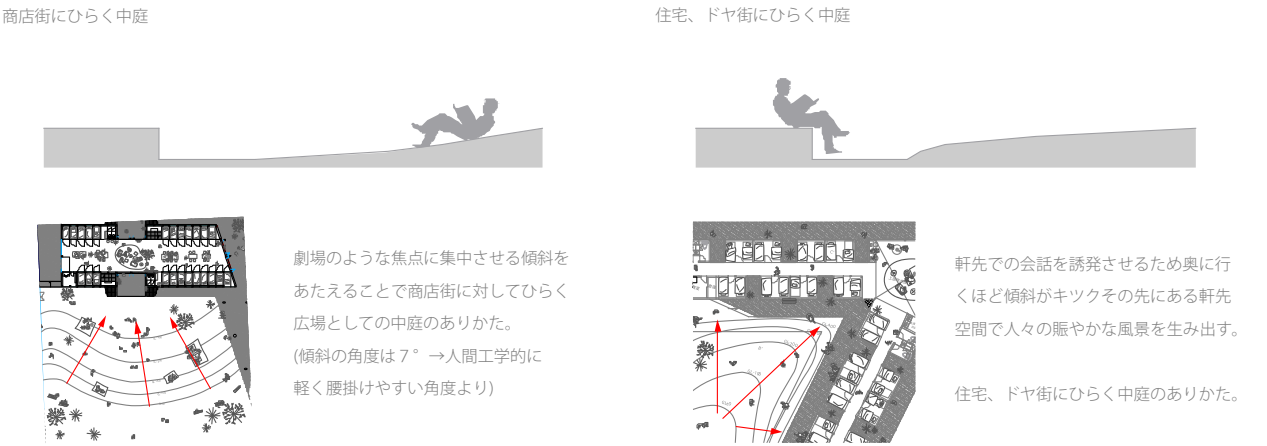


diagram 2

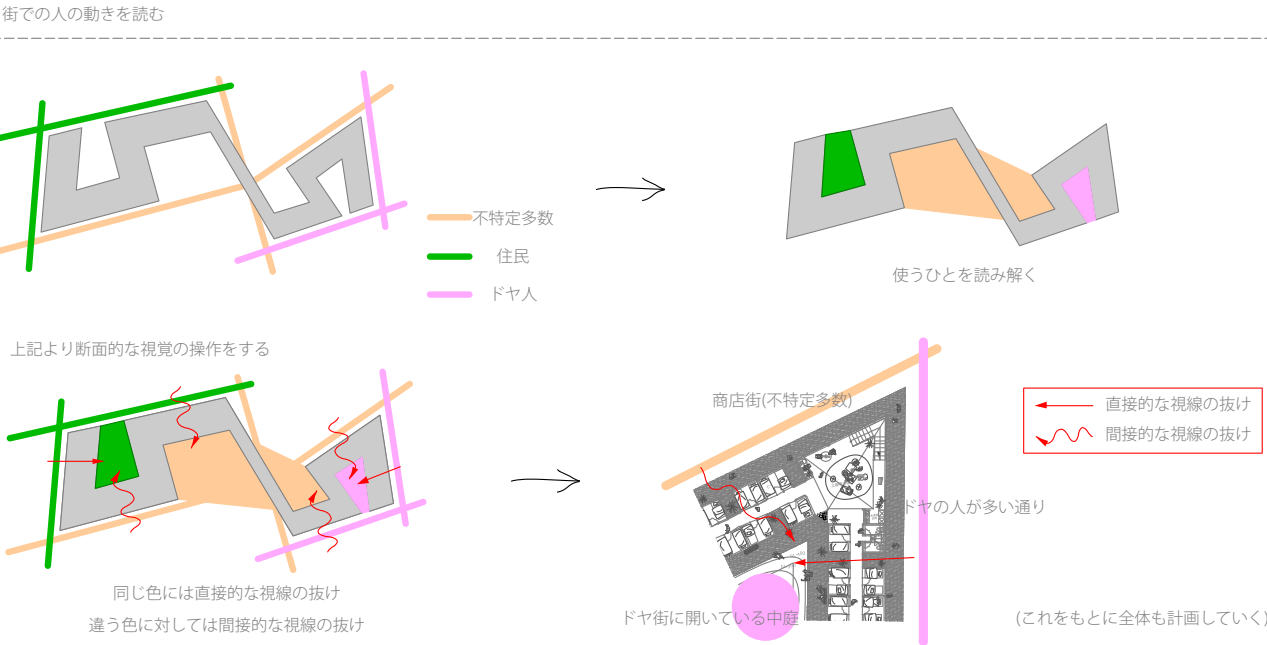
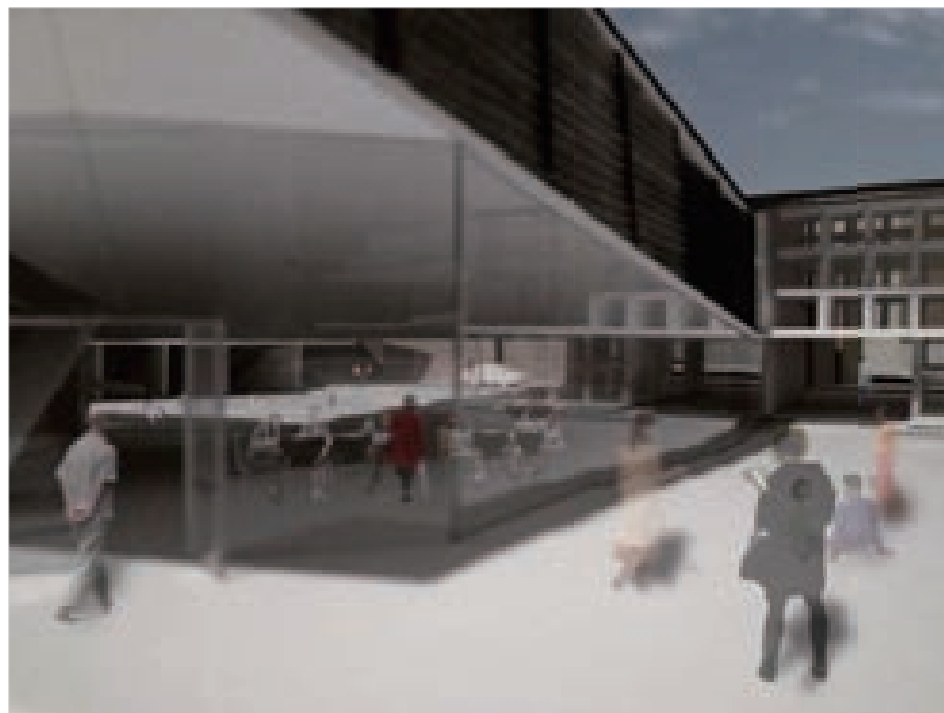


diagram 3



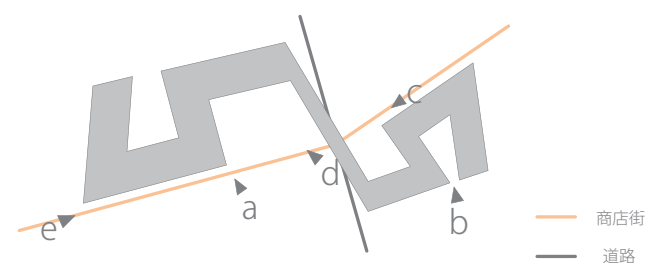


これらの操作は、都市に対して寛容さをなくした建築に対して、住民の振る舞いを町並みに溶け込ませることで「建物の内部に家族の生活以外の事が起こる」建物を都市に対して寛容な存在に転換する要素を含ませる。

images of photo



住民、バックパッカー、ドヤの人が建物や中庭を動線とし有機的に活動を展開する。



a	b
c	d

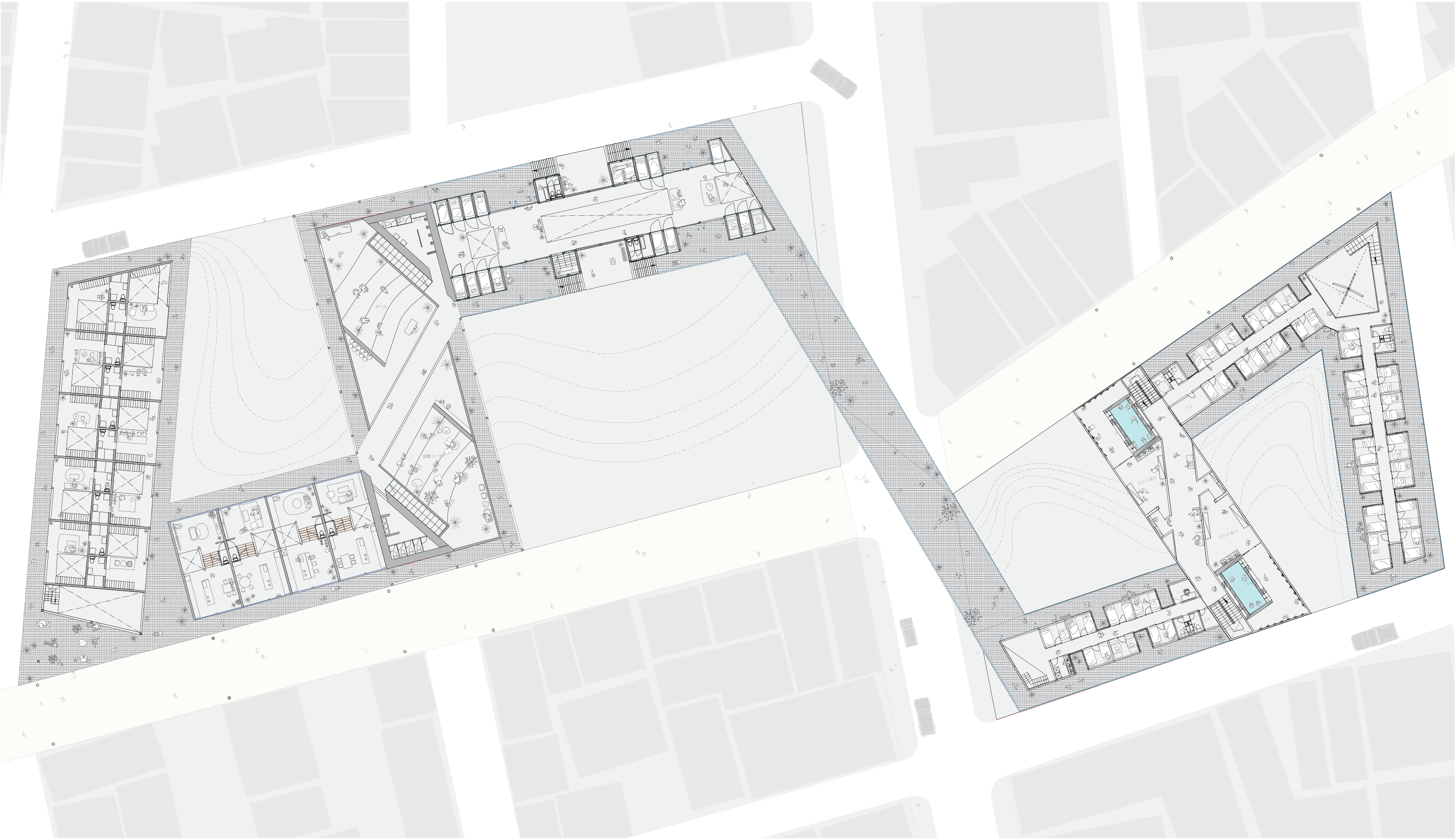
e

a : 公共空間
b : 住民中庭
c : 誘発する屋根
d : 商店街中庭
e : 角地

別々の機能をもった広場をつなぐ公共空間
軒先(縁側)空間へ誘発する傾斜をもうける
道路で分断された商店街を繋ぐ屋根と天井
人が滞留できる広場をもうける
山谷の賑わいを醸し出す立飲み屋とテラス

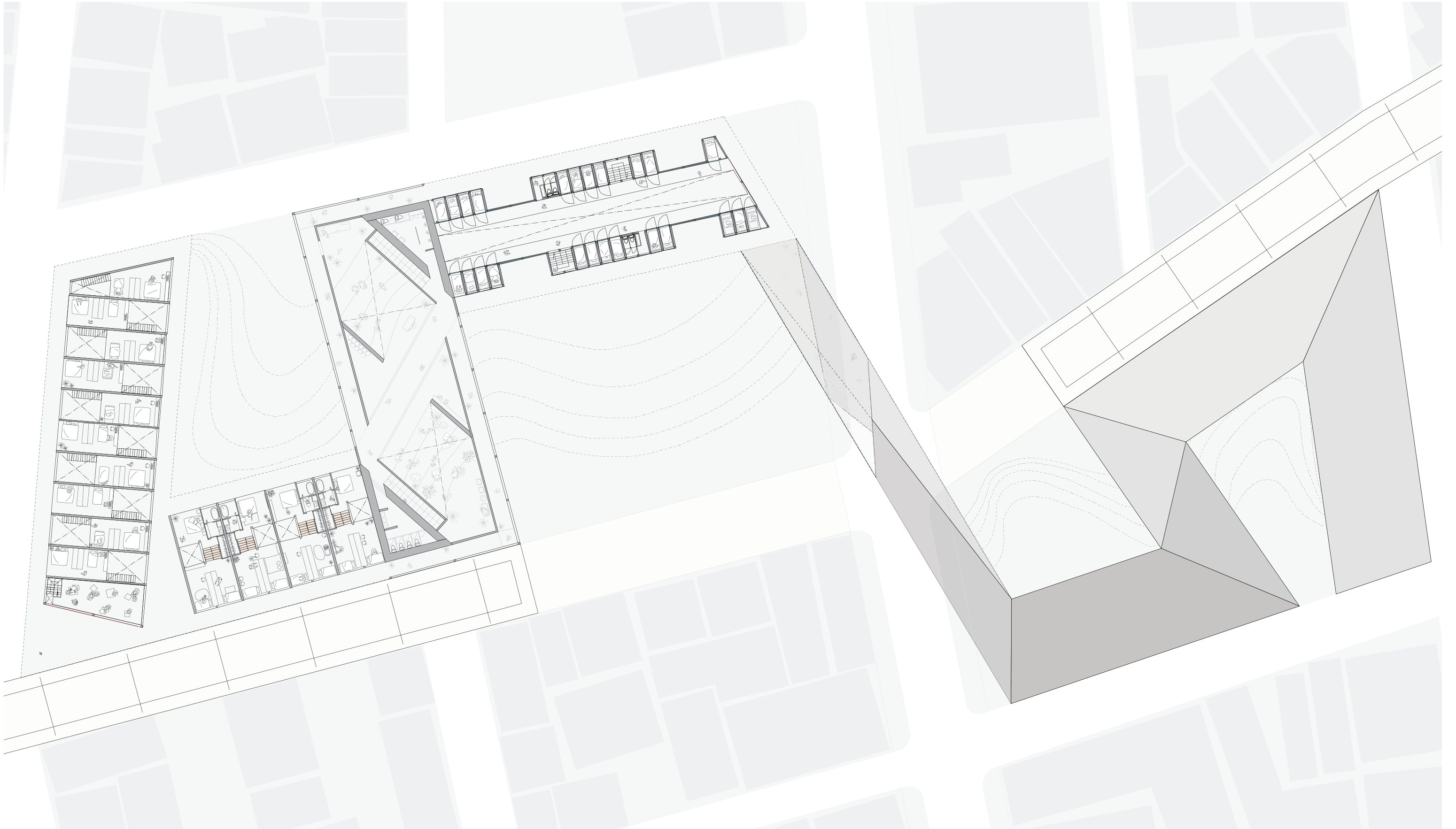


plan (GL+4400) S=1:200

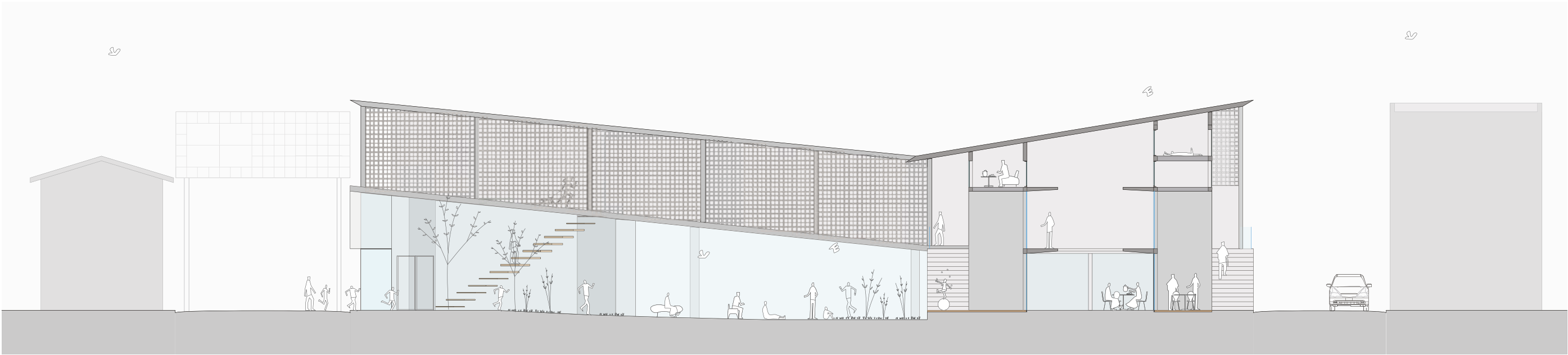




plan (GL+7200) S=1:200



section

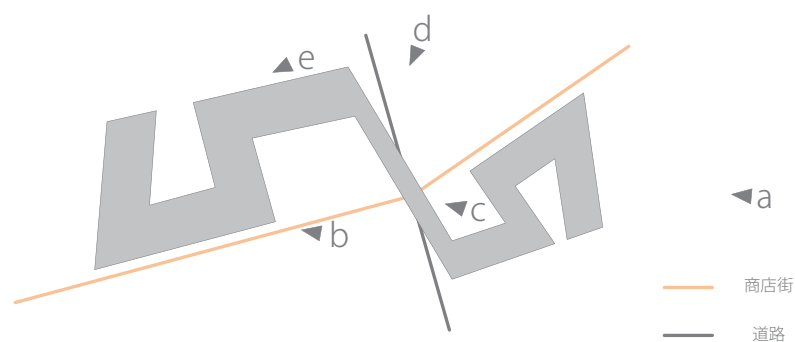


section of a-a` (1:100)



section of b-b` (1:100)

商店街に対して開く中庭と、住宅街に開く中庭。別々の機能をもった
広場でありながら中心の中和空間をかいして、1つの広場として繋がる。



a	b	c
	d	e

- a: 屋根
- b: エントランス
- c: 広場
- d: 連絡橋
- e: 裏道

それぞれの広場は連続する屋根によって視覚的にもゆるやかに繋がる
大きく開口をあけたエントランスが今までになかった人の動きを誘発する
消費活動ばかりに占められた空間を開き、人の為の場所をつくる
道路によって分断されていた街。新たな立体的インフラによりつながる
スラブと屋根のラインを合わすことにより、形態の連続性をはかった